販売用資料
2011.7

DIAM
ダイアム

資産倍増
PROJECT

新
Rising Market

株
Japan Equity

ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株レアル型

追加型投信／国内／株式

当ファンドは、実質的に株式などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

お申込みに当たっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）を必ずご覧ください。

■投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申込みは

SBI証券

商 号 等／株式会社SBI証券
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第44号
加入協会／日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会

■設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

商 号 等／DIAMアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第324号
加入協会／（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会

ファンドの特色

1 主として、わが国の新興市場の株式*に実質的に投資し、キャピタルゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。

- 円建て外国投資信託への投資を通じて、主としてジャスダック、東証マザーズ等に上場する株式に投資を行います。

*取得時において新興市場に上場（上場予定を含む）している銘柄とします。

2 円建て資産については、原則としてブラジルレアルで為替ヘッジを行うことで、ブラジルレアルの金利収益、為替益を追求します。

- 外国投資信託の円建て資産部分については、原則としてブラジルレアルで為替ヘッジ（円売りレアル買いの為替予約取引等）を行います。
- この結果、当ファンドの基準価額は、ブラジルレアルの対円為替変動の影響を受けます。

3 毎月決算を行い、収益分配を行うことをめざします。

- 毎月13日（休業日の場合は翌営業日。）の決算時には、原則として利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の範囲内で分配を行うことをめざします。

※分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

当ファンドのポイント

日本の新興市場等の株式に投資！

主にわが国の新興市場の株式へ実質的に投資することで、中長期的な値上がり益の獲得を追求します。

※新興市場等の株式は価格が大きく変動するリスクがあります。

＋

為替ヘッジプレミアムに期待！

ブラジルレアルで為替ヘッジを行うことで、為替ヘッジプレミアムが期待できます。

※通貨の金利環境等の変化により、為替ヘッジコストとなる場合があります。

＋

為替差益も狙える！

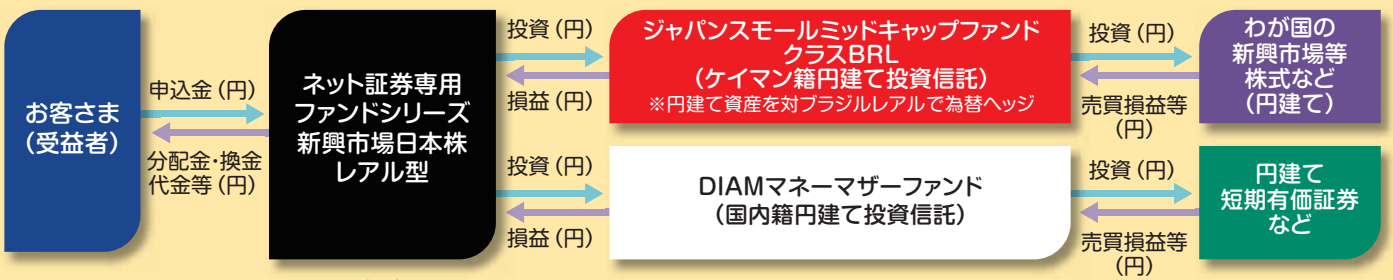
堅調な経済成長等を背景にブラジルレアルの上昇が期待できます。

※ブラジルレアルが対円で下落した場合は為替差損が発生します。

成長が期待される日本株に投資しつつ毎月の分配に期待！

※ファンドのリスクについては当資料の「ファンドの投資リスク」をご確認ください。

ファンドの仕組み



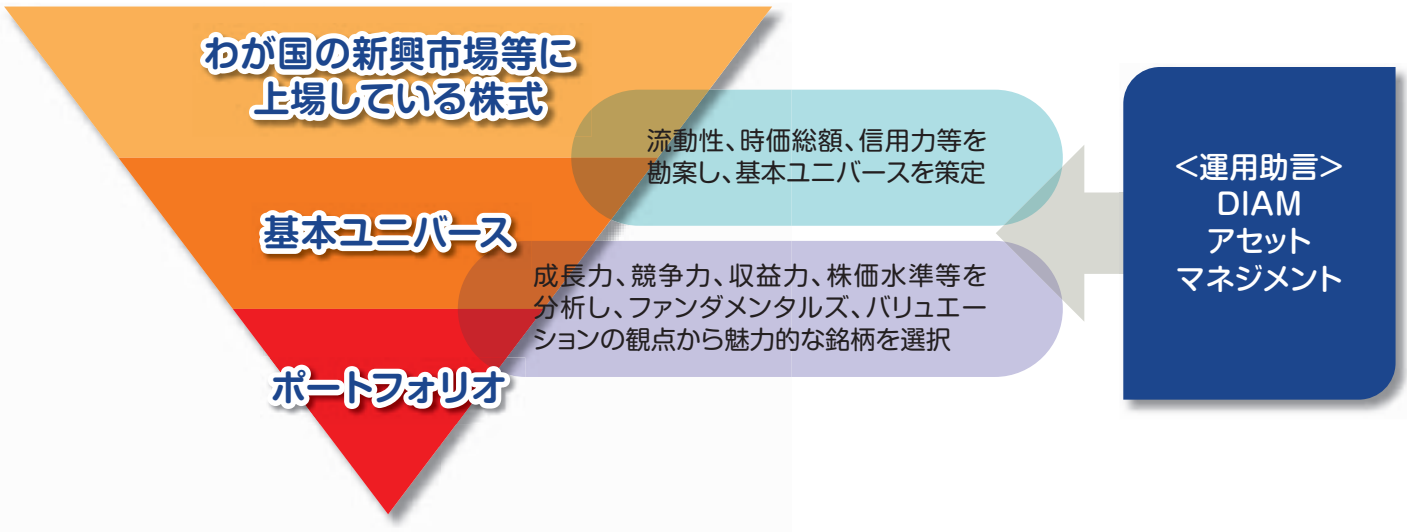
※短期金融商品等に直接投資する場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

日本の新興市場等の株式に投資!

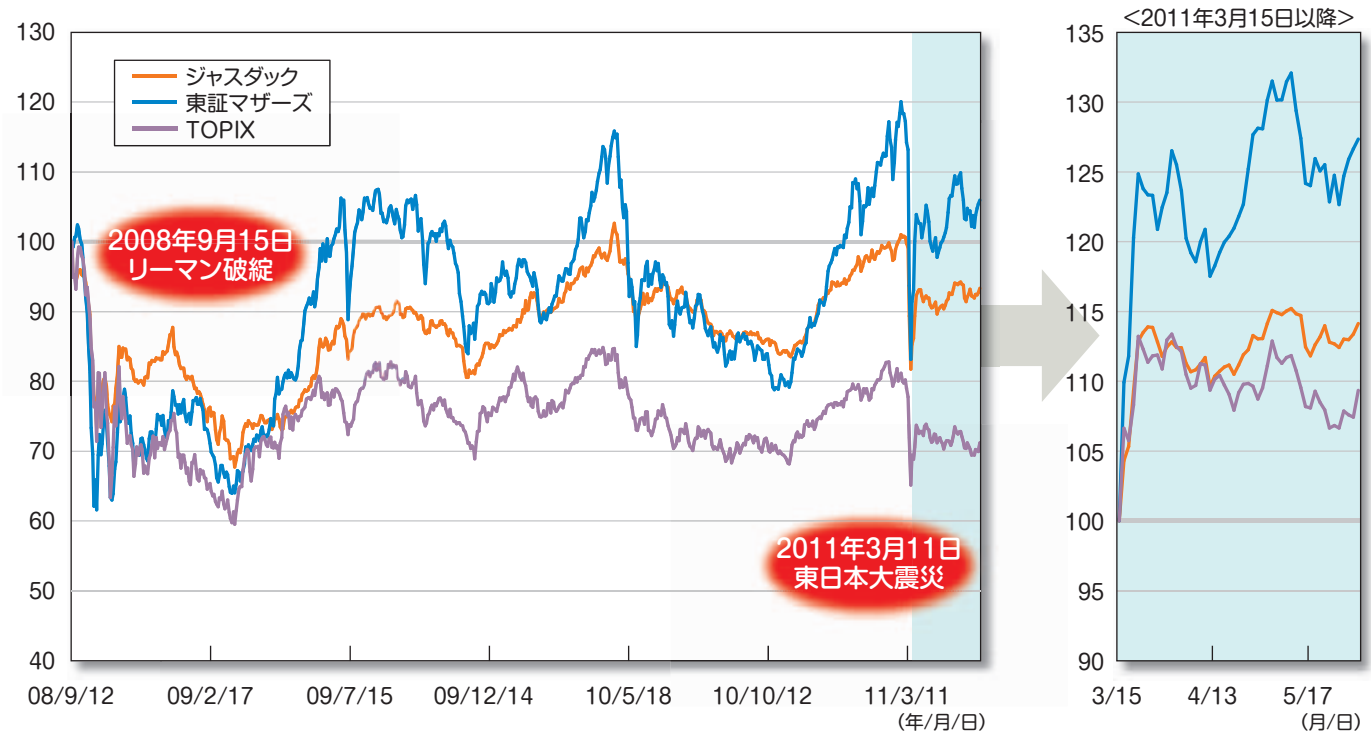
- 当ファンドは外国投資信託を通じて、わが国の新興市場等の株式に投資します。
- 一銘柄あたりの投資比率に制限を設けず、収益が期待される銘柄に重点的に投資する場合があります。
- 外国投資信託の運用は、DIAMアセットマネジメントからの銘柄選定に関する運用助言を基に、DIAM Asset Management (HK) Limitedが行います。

外国投資信託の株式部分の運用プロセス



- リーマン破綻後、株式市場は調整しましたが、新興市場の株価はいち早く破綻前の水準を回復しました。
- 東日本大震災後、日本株は大きく調整しましたが、足許、新興市場の株価は上昇傾向にあります。

市場別の株価推移



※データ期間:(左図)2008年9月12日～2011年5月末。(右図)2011年3月15日～2011年5月末。
※(左図)2008年9月12日を100として指数化。(右図)2011年3月15日を100として指数化。
※TOPIX:東証株価指数、ジャスダック:JASDAQ INDEX、東証マザーズ:東証マザーズ指数。

(出所:BloombergよりDIAM作成)

※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

日本の新興市場等の株式に投資!

▶ 新興市場に上場している銘柄は相対的に高い利益成長が見込まれており、株価の上昇が期待されます。

市場別の業績実績と業績見通し（経常増益率）

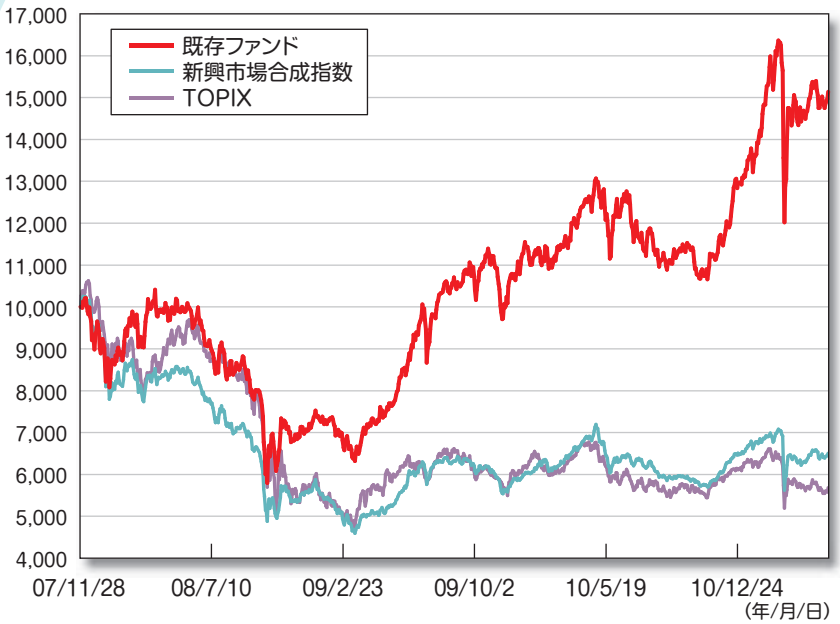
	08年度実績	09年度実績	10年度推定	11年度見通し
ジャスダック	-33.8	-1.9	48.3	14.6
東証マザーズ	-38.7	-57.6	黒字化	53.7
東証一部	-58.0	9.9	55.6	0.6

※対象は各市場に上場する（指数に採用されている）非金融企業。ジャスダックにはヤフーを含む。
※業績予想は、2011年5月末時点のもの。業績予想は野村證券金融経済研究所予想優先、東洋経済予想で補完。

（出所:東洋経済のデータをもとに作成された野村證券金融経済研究所資料よりDIAM作成）

<ご参考>日本の新興市場の株式運用におけるDIAMの実績

設定来のパフォーマンス（2007年11月28日～2011年5月31日）



期間別騰落率（基準日:2011年5月31日）

	半年 2010/11/30	1年 2010/5/31	3年 2008/5/30	設定来 2007/11/29
既存ファンド	31.98%	24.36%	51.31%	51.33%
新興市場合成指数	7.41%	3.18%	-23.09%	-34.97%
TOPIX	-2.61%	-4.77%	-40.45%	-43.18%

過去の運用実績に対する外部評価

リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2011
最優秀ファンド受賞

株式型　日本株　中小型株
（評価期間3年）

LIPPER
FUND AWARDS 2011
JAPAN

リッパー・ファンド・アワードに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

※既存ファンドの設定日:2007年11月29日。2007年11月28日を10,000として指数化。
※上記は以下のデータを使用。既存ファンド:DIAMが運用する日本の新興市場株に投資するファンドの基準価額(税引前分配金再投資)、TOPIX:東証株価指数、新興市場合成指数:JASDAQ INDEX、東証マザーズ指数、ヘラクレス指数を時価加重平均して算出（ヘラクレス指数は2010年10月7日のデータまで）。既存ファンドの運用実績と市場指数の比較表示は、既存ファンドをよりご理解いただくための一助として記載しております。
※既存ファンドの基準価額は信託報酬控除後の価額を用い、税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額は異なります。また税金および手数料は考慮していません。

（出所:Bloomberg、QUICKよりDIAM作成）

（注）上記は日本の新興市場の株式運用に関するDIAMの過去の実績をご紹介したものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の成果を示唆または保証するものではありません。当ファンドの投資先外国投資信託の運用は、上記の日本の新興市場の株式運用を行うDIAMからの投資助言をもとに、DIAM Asset Management (HK) Limitedが行います。

※上記は、DIAMが信頼できると判断した情報により作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

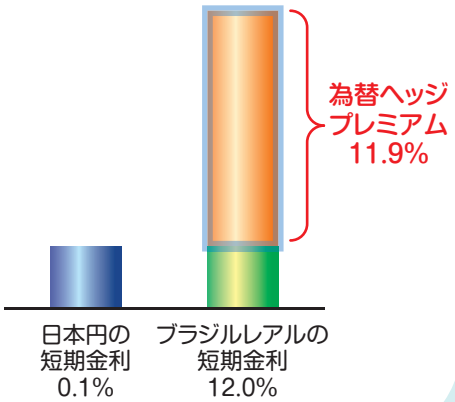
為替ヘッジプレミアムに期待!

▶ 日本円より短期金利の高いブラジルレアルで為替ヘッジを行うことで、為替ヘッジプレミアム*の獲得が期待できます。

*円の短期金利>ブラジルレアルの短期金利となった場合には為替ヘッジコストが発生します。

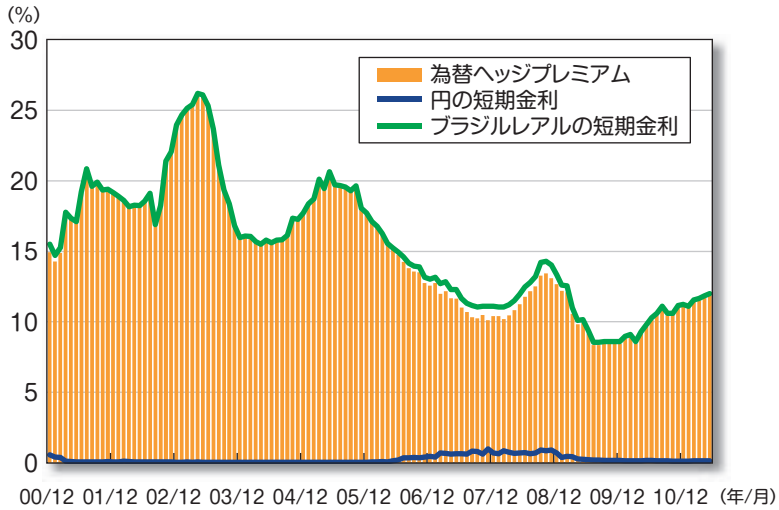
為替ヘッジプレミアムの試算方法

円の短期金利<ブラジルレアルの短期金利の場合



※2011年5月末時点。

為替ヘッジプレミアムの推移（試算）

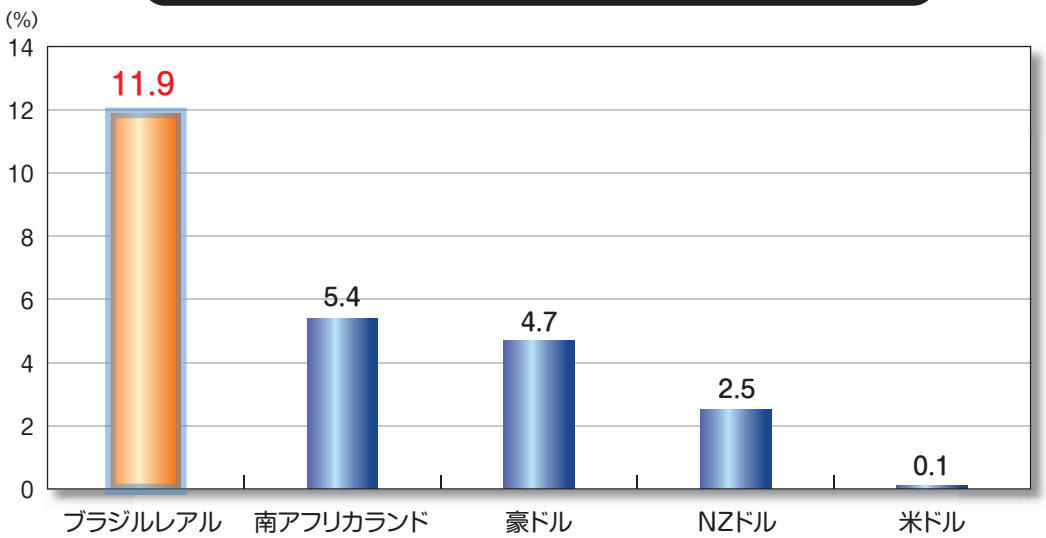


※データ期間:2000年12月末～2011年5月末。

（出所:BloombergよりDIAM作成）

▶ ブラジルレアルでの為替ヘッジにより、他の通貨に比べ比較的高い為替ヘッジプレミアムの獲得が期待できます。

各通貨の為替ヘッジプレミアム比較（試算）



※2011年5月末時点。

（出所:BloombergよりDIAM作成）

※上記為替ヘッジプレミアムの値は、各通貨の短期金利をもとに簡便法によりDIAMが行った試算結果であり、実際の値とは異なります。また上記は過去のデータであり、将来の為替ヘッジプレミアムを示唆・保証するものではなく、当ファンドの分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

※ブラジルレアルは、外国為替予約取引と類似するNDF（ノン・デリバラブル・フォワード）を利用することにより為替ヘッジを行います。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、実際の為替ヘッジプレミアムの値は上記試算と大きく乖離する場合があります。

※通貨の金利環境等の変化により為替ヘッジコストが発生する場合があります。

※当ファンドは円に対してブラジルレアルで為替ヘッジを行いますが、完全に為替ヘッジを行えるとは限りません。よって為替ヘッジプレミアムを十分に得られない場合や、十分なヘッジ効果が得られない場合があります。

※各通貨の短期金利は当資料の「当資料で使用したデータについて」をご参照ください。

※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

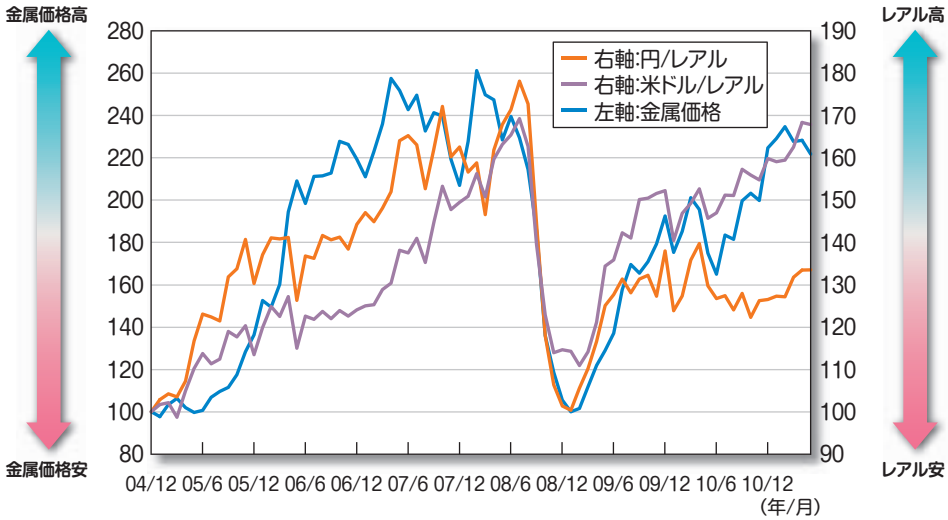
為替差益も狙える!

- ブラジルレアルが対円で上昇した場合は為替差益が、対円で下落した場合は為替差損が発生します。
- 世界的な資源需要を背景に、豊富な資源を有するブラジルの通貨は今後の上昇が期待されます。

面　積：851.2万平方キロメートル（世界第5位）
人　口：約1億9,325万人（世界第5位）　－ 平均年齢29.1歳 －
通　貨：ブラジルレアル
GDP：2兆903億米ドル（世界第7位）
※2010年時点（一部予測含む）。

（出所:IMF、外務省、国際連合よりDIAM作成）

ブラジルレアルの為替レートと金属価格の推移



※データ期間:2004年12月末～2011年5月末。2004年12月末を100として指数化。
※金属価格はS&P GSCI 産業用メタル指数(米ドルベース、トータルリターン)を使用。

（出所:BloombergよりDIAM作成）

豊富な鉱物・食糧資源

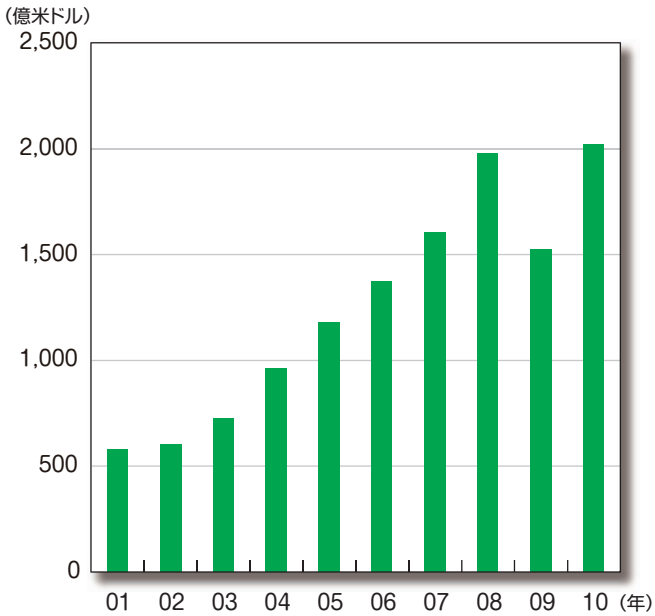
資源	生産量世界順位
鉄鉱石	3位
ボーキサイト	3位
ニッケル	11位
サトウキビ	1位
コーヒー	1位
オレンジ	1位

※2010年の世界における生産量の順位（ただし、鉄鉱石は2008年、食糧資源は2009年）、一部予測値を含みます。

（出所:WSA、USGS、FAOよりDIAM作成）

- 豊富な資源を有するブラジルの輸出増加や、経済成長を見込んだ外国からの直接投資の拡大等が、ブラジルレアルのプラス要因となることが期待されます。

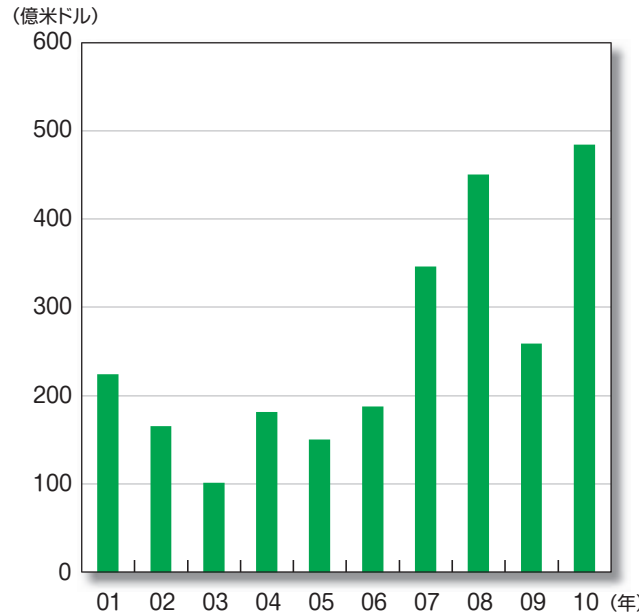
輸出額の推移



※データ期間:2001～2010年。

（出所:JETROよりDIAM作成）

外国からの直接投資額の推移



※データ期間:2001～2010年。

（出所:JETROよりDIAM作成）

※上記のデータは、DIAMが信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、情報の正確性および当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。※上記の内容はあくまでも作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

ファンドの投資リスク

当ファンドは、実質的に株式などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。したがって投資者の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じることがあります。主なリスクは以下のとおりです。

株価変動リスク	当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。また新興市場株式は株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。
為替リスク	当ファンドの主要投資対象である外国投資信託では、原則として投資資産の発行通貨である日本円を売り予約し、ブラジルレアルを買い予約する為替ヘッジを行います。そのためブラジルレアルの対円での為替変動の影響を受けます。この場合、ブラジルレアルに対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。また、ブラジルレアルの金利が日本円の金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。 為替ヘッジにあたり、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引（NDF）を利用します。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
個別銘柄選択リスク	当ファンドは、実質的に個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも当ファンドの基準価額は下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
流動性リスク	当ファンドは、実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合があり、そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかったり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることがあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。
信用リスク	実質的に投資する株式や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

当資料で使用したデータについて

【各通貨の短期金利】

円、米ドル、豪ドル、ニュージーランドドルは1ヵ月LIBORを使用。南アフリカランドは、ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリード・レート1ヵ月。ブラジルレアルは、1ヵ月CD（譲渡性預金）レート。

【指数の著作権等】

●東証株価指数（TOPIX）および東証マザーズ指数は、東証の知的財産であり、これらの指数の算出、指数の公表、利用など同指数に関する権利は東証が有しています。東証株価指数（TOPIX）および東証マザーズ指数の算出においては、電子計算機の障害または天災地変その他やむを得ない事由が発生した場合は、その算出を延期または中止する場合があります。また、東証は、同指数がいかなる場合においても真正であることを保証するものではなく、同指数の算出において、指数に誤謬が発生しても、東証は一切その賠償の責めを負いません。

●JASDAQ INDEXおよびヘラクレス指数は株式会社大阪証券取引所の知的財産であり、当該指数の算出、公表、利用などに関する一切の権利は株式会社大阪証券取引所が所有しています。同取引所は、いかなる場合においてもJASDAQ INDEXおよびヘラクレス指数の正確性を保証するものではなく、同指数の算出において、数値に誤謬が発生しても、同取引所は一切その賠償の責任を負いません。

●S&P GSCI 産業用メタル指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ（以下「S&P」といいます。）に帰属します。S&PはS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータの正確性あるいは完全性を保証するものではなく、またS&Pが公表する各指数またはそれに含まれるデータを利用した結果生じた事項に関して保証等の責任を負うものではありません。

投資信託ご購入の注意

証券投資信託は、
(1) 預金・金融債・保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
(2) 金融機関の預金・金融債あるいは保険契約における保険金額とは異なり、購入金額については、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
(3) 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

▶ 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。当ファンドのお申込みに際しては、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）をあらかじめお渡しいたしますので、内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ（ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。）

ご購入について

当初申込期間:平成23年7月8日～平成23年7月28日
継続申込期間:平成23年7月29日以降、原則として販売会社の毎営業日に行われます。
※継続申込期間中の受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。
※ニューヨークの銀行、香港の銀行の休業日のいずれかに該当する日（以下「海外休業日」といいます。）には受付を行いません。

購入単位（当初元本1口=1円）

販売会社が定める単位
※「分配金受取コース」および「分配金自動けいぞく投資コース」によるお申込みが可能です。お申込みになる販売会社によっては、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなります。購入単位および取扱コースについては、販売会社にお問い合わせください。

購入価額

当初申込期間:1口=1円
継続申込期間:購入申込日の翌営業日の基準価額

ご換金について

ご換金の受付は、原則として販売会社の毎営業日に行われます。
※受付は、原則として午後3時までといたします。受付時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお取扱いとなりますのでご注意ください。
※海外休業日には受付を行いません。
※大口の換金請求に制限を設ける場合があります。また、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、受付を中止することおよび受付を取り消すことがあります。

換金単位

販売会社が定める単位

換金価額

換金申込日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額（換金申込日の翌営業日の基準価額の0.3%）を差し引いた価額

換金代金

原則として換金申込日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

平成33年7月13日まで。（当初設定日:平成23年7月29日）

繰上償還

主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合には償還させます。また、受益権口数が10億口を下回った場合等には償還することがあります。

収益分配

毎決算時（原則として毎月13日。休業日の場合には翌営業日。）に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。
「分配金受取コース」原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始します。
「分配金自動けいぞく投資コース」税引後、自動的に無手数料で全額再投資されます。
※初回決算日:平成23年8月15日
※第1期（平成23年8月15日）、第2期（平成23年9月13日）の決算は無分配とします。
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

課税関係

◆当ファンドは課税上は株式投資信託として取り扱われます。
原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。
※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

お客さまにご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

●ご購入時

購入時手数料

ありません。

●ご換金時

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。

●保有期間中（信託財産から間接的にご負担いただきます。）

運用管理費用（信託報酬）

実質的な運用管理費用（信託報酬）：信託財産の純資産総額に対して年率1.657%（税抜1.60%）＊（概算）
・当ファンド　：信託財産の純資産総額に対して年率1.197%（税抜1.14%）
・投資先外国投資信託：投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.46%程度
※当該外国投資信託の信託報酬には、年間最低報酬額が定められている場合があり、純資産総額等によっては年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。
＊投資先外国投資信託を高位に組入れた状態を想定しています。

その他費用・手数料

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。
（その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。）

委託会社その他関係法人の概要

● **委託会社**　DIAMアセットマネジメント株式会社
信託財産の運用指図等を行います。

● **受託会社**　みずほ信託銀行株式会社
信託財産の保管・管理業務等を行います。なお、受託会社は信託事務の一部につき資産管理サービス信託銀行株式会社に委託することができます。

● **販売会社**
募集の取扱いおよび販売、投資信託説明書（目論見書）・運用報告書の交付、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資、収益分配金、一部解約金および償還金の支払いに関する事務等を行います。

照会先

DIAMアセットマネジメント株式会社
●コールセンター
0120-506-860
受付時間:営業日の午前9時から午後5時
●ホームページ
URL http://www.diam.co.jp/

313937-10A-1107（1107）